

年	日付	国内	
1945	8月15日	第二次世界大戦終戦	
1946 昭和21	6月19日	「按摩術営業取締規則及び鍼灸術取締規則の特例に関する件」外地からの引揚者救済	
	7月22日		
	11月3日	日本国憲法公布	
1947 昭和22	11月		
	4月30日	「医業類似行為をなすことを業とする者の取締りに関する件」	
	4月	小林勝馬氏が参院選で当選	
	5月3日	日本国憲法施行	
	6月20日	日本鍼灸按摩マッサージ師会連合会発足	
	7月7日	石川日出鶴丸、三重軍政部で鍼灸の治効機序を説明	
	8月3日	日本鍼灸医連盟結成	
	8月20日		
	9月28日	医療制度審議会答申「按摩・鍼・灸等は医師の監督下での医療補助手段、盲人が行う事は不適當」	
	10月27日	鍼灸存続期成同盟委員会結成	
	12月20日	あん摩・はり・きゅう・柔道整復等営業法（法律第217号）制定	
1948 昭和23	1月1日	あん摩・はり・きゅう・柔道整復等営業法施行（営業法）	
	1月7日	日本鍼灸学会創立	
	4月7日	文部省厚生省令1号あはき柔整養成施設認定規則公布	
	7月1日	あはき柔道整復等営業法に関する臨時試験特例法公布	
	7月30日	鍼灸の療養費取り扱い一部開始	
	7月	新制度の養成校認定始まる	
	9月		
	10月27日	医師法制定	
	1949 昭和24	5月15日・16日	日本鍼灸按摩マッサージ師会連盟が全日本鍼灸按摩マッサージ師会連盟（略称・全鍼連）に名称変更
		10月1日	厚生省中央諮問委員会に鍼灸業界代表が参加
		10月1日	
1950 昭和25	10月	日本鍼灸師会連合会結成	
	1月19日	保発第4号 療養費申請に同意書の添付を要件とする	
	9月17日・18日	全国鍼灸懇談会	
	11月30日	日本鍼灸師会結成 日本鍼灸学会が日本鍼灸医学会に	
1951 昭和26	3月9日	保発第14号 施術業者の団体との契約破棄	
	4月1日	あん摩師・はり師・きゅう師及び柔道整復師法（身分法）へ	
	5月10日	日本鍼灸師会が社団法人に	
	5月		
	10月20日	日本鍼灸治療学会発足	
1952 昭和27	1月26日	日本鍼灸師会主催第1回学術講習会が厚生省後援で開講	
1953 昭和28	2月27日	ドイツよりヘルベルト・シュミット博士が鍼灸研究のため来日	
	3月17日	あはきの修業年限3年、鍼灸2科の修業年限が2年半に	
1955 昭和30	5月14日~17日		
	7月26日~29日	全鍼連等、療術師法反対の断食闘争	
	7月30日	あはき法改正、指圧が加わる	
	12月29日		
1956 昭和31			
1957 昭和32	4月13日	ストレス学説のハンス・セリエ博士が来日	
	7月2日	医発第609号 静電気治療はあはき法違反	
1958 昭和33	11月20日	医第166号 内容調べる	
	2月25日	日本鍼灸マッサージ保険獲得期成同盟結成	
	8月1日	養成施設認定規則改正により第1回養成施設教育認定講習会	
	12月11日	日本保険鍼灸マッサージ師会結成	
	12月27日	新国民健康保険法公布	
1959 昭和34	4月1日	明治鍼灸柔整専門学校で鍼灸2科2年半課程開講	
	6月2日	花田傳氏が参院選に出馬・落選	
	9月	伊勢湾台風	
1960 昭和35	1月27日	「HS式無熱高周波療法裁判」最高裁で差戻し判決	
1961 昭和36	2月15日	あはき法の広告制限に対して最高裁が合憲と判断	
	4月1日	国民皆保険開始	
	12月16日		
1963 昭和38	10月23日	保発第36号 鍼灸療養費の地域差撤廃	
1964 昭和39	6月		
	9月28日	あはき法改正「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師等に関する法律」となる	
	10月	東京オリンピック	
1965 昭和40	4月	日本経穴委員会設立 1969年自然解散	
	4月4日		
	6月29日	理学療法士、作業療法士法施行	
	7月4日		
	10月		
	10月18日~20日	漢方薬の約70種が健康保険適用に	

日本経穴委員会

日付	国際
	国際鍼灸学会（SIA）発足（1943年との説もある）
7月22日	世界保健機関（WHO）憲章採択
8月20日	ニュールンベルク綱領 人体実験に関する倫理規範
9月	世界医師会ジュネーブ宣言 ヒポクラテスの誓いの倫理的精神
10月1日	中華人民共和国成立
6月	朝鮮戦争勃発
5月	日本がWHOに加盟
5月14日~17日	国際鍼学会バリ大会
12月29日	中国中医研究院創立 北京・上海・成都・広州に中医学院
12月16日	キム・ボンハン学説が朝鮮時報に掲載、ボンハン旋風
6月	世界医師会総会ヘルシンキ宣言 人を対象とする医学研究の倫理
4月4日	第1回国際経絡経穴委員会
7月4日	第2回国際経絡経穴委員会
10月	中国で文化大革命始まる
10月18日~20日	第1回国際鍼灸学会東京大会/国際経絡経穴委員会開催



1985	昭和60	12月12日	健保推進団体協議会発足	
		12月13日	健保取扱の改善要求大会	
		2月21日	日鍼会鍼灸関係議員懇談会	
		3月17日	つくば科学万博開催	
		4月11日-18日		
1986	昭和61	7月16日-21日		
		8月		
		10月		
		11月19日	顧問議員団会結成(全鍼?)	
		2月7日	厚生省、AIDS予防対策の周知徹底を指導	
		4月21日	保発第37号 同意書の様式化と3カ月経過後の簡素化	
		5月		
		6月		
		11月		
		2月26日	厚生省 鍼灸におけるAIDSの感染の予防について	
1987	昭和62	4月1日	日鍼会倫理綱領制定	
		6月21日	明治鍼灸大学付属病院竣工	
		8月9日	あはき法改正に関する関係団体打合せ経過 中卒廃止 高卒3年	
		8月19日	厚生省、医療機関のB型肝炎感染防止推進について指示	
		9月25日	腰痛にハリは逆効果か、石田教授に抗議	
		11月22日-26日		
		12月23日	業界団体があはき法一部改正に合意、高卒3年以上	
		2月17日	あはき法改正協議会発足	
		3月9日	あはき法改正で議員懇談会開催	
		5月30日	あはき法改正(法律第71号)	
		5月		
				日本経絡学会が日本伝統鍼灸学会に 第1次経穴委員会『標準経穴学』刊行
		9月16日-18日		
		9月		
		1989	昭和64 (平成1)	2月13日
9月5日-9日				
9月29日	あはき法の一部を「政省令」に			
10月3日-5日				
11月1日	日本鍼灸師会共済制度開始			
1990	平成2	2月	全鍼師会が保険療養費申請取扱い開始	
		3月28日	東洋療法研修試験財団の財団法人許可	
		4月1日	改正あはき法施行(法第71号)	
		4月		
		10月	あはき法附則10条に基づく厚生大臣指定講習会開始	
		10月		
		12月5日-8日		
1991	平成3	10月22日-25日		
1992	平成4	6月		
		10月22日-24日		
		11月		
		東洋医学総合研究会(若手の会)発足		
1993	平成5	2月27日・28日	第1回あはき国家試験	
		9月2日	国民年金基金認可(鍼灸マッサージは25番目)	
		11月20日-23日		
1994	平成6	3月		
		6月		
		10月5日	医療保険審議会に柔道整復等療養費部会設置	
1995	平成7	11月12日-14日		
		1月17日	阪神淡路大震災	
		2月		
		6月22日	厚生省インフォームドコンセントの在り方に関する検討会が報告書	
		9月		
		10月25日	カイロ整体等無資格業者撲滅総決起大会	
		10月31日		
		12月12日	国際医療協力フォーラム	
1996	平成8	3月8日	療養費の同意書交付料に診療報酬の点数を新設	
		5月8日	福祉団体協議会設立	
		5月24日	保発64号 療養費の対象に頸椎捻挫後遺症が追加	

あはき法改正協議会

		WHO Standard Acupuncture Nomenclature刊行
4月11日-18日	第9回国際鍼灸学会モントリオール大会	
7月16日-21日	第2回鍼用語標準化に関するWHO/WPROワーキンググループ会議 香港	
8月	WHO西太平洋地域初の伝統医学決議採択	
10月	第4回国際東洋医学学術大会(ICOM) 京都	
5月	ICMART第2回世界科学的鍼会議 ロンドン	
6月	第3回鍼用語標準化に関するWHO/WPROワーキンググループ会議 ソウル	
11月	WHO伝統医学の教育に関するワークショップ マニラ	
11月22日-26日	第1回WFAS世界鍼灸学術大会 北京	
5月	ICMART第3回世界科学的鍼会議 ブラハ	
9月16日-18日	WFAS鍼麻酔と鍼の鎮痛メカニズムセミナー トロント	
9月	第5回国際東洋医学学術大会(ICOM) ソウル	
		WHO Standard Acupuncture Nomenclature Part2刊行
9月5日-9日	WFAS鍼灸の教育シンポジウム 北京	
10月3日-5日	鍼用語標準化に関するWHO学術会議 ジュネーブ	
4月	ICMART第4回世界科学的鍼会議 ローマ	
10月	第6回国際東洋医学学術大会(ICOM) 東京	
12月5日-8日	第2回WFAS世界鍼灸学術大会 バリ	
10月22日-25日	WFAS鍼灸の方法論の交換カンファレンス 北京	
		WHO A Proposed International Acupuncture Nomenclature 刊行
		WHO A Proposed International Acupuncture Nomenclature Revised Edition刊行
		WHO Standard Acupuncture Nomenclature Part2 Revised Edition刊行
6月	ICMART第5回世界科学的鍼会議 ブダペスト	
10月22日-24日	WFAS鍼研究の動向シンポジウム ローマ	
11月	第7回国際東洋医学学術大会(ICOM) 台中	
		コクラン共同計画開始
11月20日-23日	第3回WFAS世界鍼灸学術大会 京都	
		WHO Standard Acupuncture Nomenclature刊行
3月	WHO患者の権利に関するヨーロッパ会議	
6月	ICMART第5回世界科学的鍼会議 イスタンブール	
11月12日-14日	WFAS鍼灸シンポジウム ソウル	
2月	WHO鍼の臨床研究のためのガイドラインと勧告発行	
9月	世界医師会患者の権利に関するリスボン宣言改訂	
10月31日	WFAS鍼と気シンポジウム イスタンブール	
		第8回国際東洋医学学術大会(ICOM) ソウル

1997	平成9	5月24日	保発84号 療養費同意書・診断書に頸椎捻挫後遺症が追加された新様式に
		9月19日-22日	
		10月4日	東洋療法協同組合認可
		10月26日・27日	第1回日本鍼灸師会臨床学術大会
		9月1日	健康保険法改正 本人負担2割に
		11月1日-3日	
		11月6日	
		11月20日	あはき法制定50周年記念式典
		1月20日	介護保険ケアマネージャー受験対象者にあはき師の参入決定
		8月22日	(社)全日本鍼灸マッサージ師会/(社)日本鍼灸師会/(社)日本あん摩マッサージ指圧師会/(社)日本盲人会連合の代表者による第1回保険担当者会議
1998	平成10	8月27日	柔道整復養成施設不指定処分取消請求訴訟で原告勝訴(福岡裁判)
		10月17日・18日	
		12月22日	鍼灸マッサージ対策議員連盟発足
		2月9日	テレビ朝日の無資格マッサージ放映番組に対し関係7団体が抗議
		3月25日	保険推進団体協議会、厚生省と第1回勉強会
		3月29日	広告制限の緩和告示
		4月1日	東洋療法研修試験財団があはき免許証明書を「免許証」として発行
		7月29日	介護保険ケアプランに鍼灸が位置づけられた
		10月27日	日本保険鍼灸師会連合会設立
		11月6日	
11月9日-11日			
1999	平成11	4月1日	介護保険制度開始
		4月1日	第1回鍼灸安全性委員会開催
		4月1日	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律制定
		5月14日	鍼灸祭復活第1回
		5月18日	鍼灸マッサージを考える国会議員の会発足
		6月7日	あはき等審議会から医道審議会のあはき等分科会となる
		9月11日-13日	
		11月12日-15日	
		12月12日	鍼灸マッサージを考える国会議員の会 第1回総会
		1月6日	厚生省が厚生労働省となる
12月7日-9日			
2000	平成12	6月1日	あはき療養費の期間・回数制限撤廃実施
		7月28日	日鍼会・全鍼師会「全国合同保険部長会議」開催
		10月1日	老人保健医療一部負担金定率負担に変更(1または2割)
		11月7日-9日	『療養費の支給基準』業界団体からの指摘により修正
		7月17日-19日	
		9月12日-14日	
		10月1日	保険療養費支給申請書 全国統一
		10月31日・11月1日	
		11月4日	8月9日「はりきゅうマッサージの日」記念日登録(11月4日)
		2001	平成13
1月26日	全鍼師会経産省担当官と「エステ共通資格制度」について協議		
2月14日			
3月17日・18日			
4月19日	全鍼師会無資格者問題で総理官邸を訪問		
6月			
10月1日	保医発1001002号「療養費の支給の留意事項等について」通知		
10月12日-14日			
10月21日	国民医療推進協議会設立総会		
10月28日-31日			
2002	平成14	11月7日	日鍼会・全鍼師会「合同全国保険部長会議」開催
		11月22日	国民医療推進協議会 署名運動
		3月3日	全鍼師会FTAタイ式マッサージ問題 外務省・経産省等で協議
		4月1日	個人情報保護法施行
		4月25日-27日	
		5月	日本東洋医学サミット会議(JLOM)設立
		5月	
		6月13日-21日	日東医 WHO表敬訪問
		8月24日-26日	
		9月27日-29日	
11月4日-6日			
2003	平成15	1月10日-12日	
		3月13日-15日	
		1月15日	
		1月26日	
		2月14日	
		3月17日・18日	
		4月19日	
		6月	
		10月1日	
		10月12日-14日	
10月21日			
10月28日-31日			
11月7日			
11月22日			
3月3日			
4月1日			
4月25日-27日			
5月			
5月			
6月13日-21日			
8月24日-26日			
9月27日-29日			
11月4日-6日			
2004	平成16	1月10日-12日	
		3月13日-15日	
		1月15日	
		1月26日	
		2月14日	
		3月17日・18日	
		4月19日	
		6月	
		10月1日	
		10月12日-14日	
10月21日			
10月28日-31日			
11月7日			
11月22日			
3月3日			
4月1日			
4月25日-27日			
5月			
5月			
6月13日-21日			
8月24日-26日			
9月27日-29日			
11月4日-6日			
2005	平成17	1月10日-12日	
		3月13日-15日	
		1月15日	
		1月26日	
		2月14日	
		3月17日・18日	
		4月19日	
		6月	
		10月1日	
		10月12日-14日	
10月21日			
10月28日-31日			
11月7日			
11月22日			
3月3日			
4月1日			
4月25日-27日			
5月			
5月			
6月13日-21日			
8月24日-26日			
9月27日-29日			
11月4日-6日			
2006	平成18	1月10日-12日	
		3月13日-15日	
		1月15日	
		1月26日	
		2月14日	
		3月17日・18日	
		4月19日	
		6月	
		10月1日	
		10月12日-14日	
10月21日			
10月28日-31日			
11月7日			
11月22日			
3月3日			
4月1日			
4月25日-27日			
5月			
5月			
6月13日-21日			
8月24日-26日			
9月27日-29日			
11月4日-6日			

第2次日本経穴委員会

JLOM

9月19日-22日	第4回WFAS世界鍼灸学術大会 ニューヨーク
	WHO鍼の基礎教育と安全性に関するガイドライン発表
11月1日-3日	WFAS設立10周年学術大会 北京
11月6日	米国立衛生研究所(NIH)鍼の合意形成声明 毎日新聞報道
10月17日・18日	WFAS鍼シンポジウム バルセロナ
	第9回国際東洋医学学術大会(ICOM)ラスベガス
11月6日	WHO伝統医療に関するシンポジウム 神戸
11月9日-11日	WFAS鍼シンポジウム ハノイ
	第10回国際東洋医学学術大会(ICOM)東京
9月11日-13日	WHO伝統医療に関するシンポジウム 淡路島
11月12日-15日	第5回WFAS世界鍼灸学術大会 ソウル
12月7日-9日	WFAS鍼国際シンポジウム シンガポール
	第11回国際東洋医学学術大会(ICOM)ソウル
11月7日-9日	WFAS鍼国際シンポジウム ローマ
7月17日-19日	伝統医療の世界情報地図に関する国際会議 神戸
9月12日-14日	WFAS鍼国際シンポジウム オスロ
10月31日・11月1日	第1回WHO経穴部位国際標準化に関する非公式会議 マニラ
	第12回国際東洋医学学術大会(ICOM)台北
1月26日	WHO/WPRO伝統医学用語国際標準化プロジェクト開始
2月14日	全日本鍼灸学会と大韓鍼灸学会及び大韓韓医学会が交流合意書に署名
3月17日・18日	第2回WHO経穴部位国際標準化に関する非公式会議 北京
6月	第1回日韓鍼とEBMワークショップ
10月12日-14日	第3回WHO経穴部位国際標準化に関する非公式会議 京都
10月28日-31日	第6回WFAS世界鍼灸学術大会 ゴールドコースト
4月25日-27日	第4回WHO経穴部位国際標準化に関する非公式会議 大田
5月	第1回伝統医学情報標準化に関する非公式会議 北京
8月24日-26日	WHO鍼の臨床研究ガイドライン改訂会議 ソウル
9月27日-29日	第5回WHO経穴部位国際標準化に関する非公式会議 大阪
11月4日-6日	WFAS鍼国際シンポジウム リスボン
	第13回国際東洋医学学術大会(ICOM)大邱
1月10日-12日	第2回伝統医学情報標準化に関する非公式会議 つくば
3月13日-15日	第6回WHO経穴部位国際標準化に関する非公式会議 東京

2007	平成19	4月21日-24日	
		6月8日	無免許マッサージから国民を守る法改正に関する請願を国会に提出
		6月16日	鍼灸医療推進研究会発足 (社) 全日本鍼灸マッサージ師会/ (社) 日本鍼灸師会/ (社) 全日本鍼灸学会/ (社) 東洋療法学校協会
		10月31日-11月2日	
		11月24日-26日	
		11月27日	厚生省HPに無資格注意喚起について掲載
2008	平成20	3月31日	
		8月	
		10月20日-22日	
		1月29日-31日	
		4月1日	後期高齢者医療制度施行
		4月1日	療養費支給申請書統一様式に施術者登録番号記載はじまる
2009	平成21	5月	
		6月21日	マッサージ等将来研究会発足 (社) 全日本鍼灸マッサージ師会/ (社) 日本あん摩マッサージ指圧師会/ (社) 全国病院理学療法協会 / (社) 東洋療法学校協会/ (社) 日本理療科教員連盟/ (社) 日本盲人会連合/ (中法) 日本東洋医学系物理療法学会
		7月8日	広告制限が一部緩和「厚生労働大臣免許」表示可となる
		10月1日	政府管掌健保が全国健康保険協会 (協会けんぽ) へ移行される
		11月6日	
		11月7日-9日	
2010	平成22	12月1日	新公益法人法施行
		12月24日	鍼灸医療推進研究会、鍼灸ポータルサイト「鍼灸net」開設
		3月25日	『WHO/WPRO標準経穴部位』日本語版刊行
		3月27日・28日	
		5月11日	全鍼師会視覚障害者委託訓練事業開始
		5月18日	東洋療法学校協会第1回はりきゅう実技評価委員会
2011	平成23	11月3日-7日	
		6月	
		10月17日	全鍼師会第1回学術セミナー開催
		11月6日・7日	
		12月21日	
		3月11日	東日本大震災
2012	平成24	4月1日	全鍼師会、公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会へ改称
		6月19日	全日本鍼灸学会・日本伝統鍼灸学会、日本鍼灸に関する東京宣言2011採択
		7月15日	厚生省が東日本大震災による被災者が受けたあはき施術で同意書等について特例的な運用の「事務連絡」発出。
		11月5日・6日	
		2月22日	全鍼師会鍼灸マッサージ制度を守る緊急決起集会
		2月	国民のための鍼灸医療推進機構 (AcuPOPJ) 設立
2013	平成25	4月1日	東洋療法学校協会が公益社団法人に
		4月	
		11月2日-4日	
		1月	日本標準産業分類にリラクゼーション業が新設される
		4月1日	消費税8%に改定
		4月	厚生労働省「統合医療」情報発信サイトeJIMが開設
2014	平成26	6月5日	慢性の痛み対策議員連盟設立
		10月31日-11月2日	
		4月1日	全日本鍼灸学会が公益社団法人に
		4月	
		11月2日-4日	
		1月	日本標準産業分類にリラクゼーション業が新設される
2015	平成27	4月1日	消費税率8%に改定
		4月	厚生労働省「統合医療」情報発信サイトeJIMが開設
		6月5日	慢性の痛み対策議員連盟設立
		10月31日-11月2日	
		4月20日	東洋療法学校協会『新版 東洋医学概論』発刊
		9月25日-27日	
2016	平成28	9月15日	東洋療法研修試験財団が「厚生労働大臣免許保有証」の受付開始
		1月	あはき養成施設カリキュラム等改善検討会開始
		4月14日	熊本地震
		4月15日-17日	
		6月	鍼灸学系大学協議会設立
		7月	晴眼者のあま指養成課程新設裁判
2017	平成29	11月5日・6日	
		4月1日	改定あはきカリキュラム施行
		5月26日	消費者庁が法的な資格制度がない医療類似行為への注意喚起資料公表
		9月11日	読売巨人軍・澤村投手への鍼施術報道 (11月7日回答)
		12月3日・4日	

あはきカリキュラム検討会

4月21日-24日	WFAS鍼国際シンポジウム クアラルンプール
10月31日-11月2日	WHO経穴部位国際標準化公式会議 つくば
11月24日-26日	WFAS鍼国際シンポジウム インドネシア・バリ
3月31日	WHO経穴部位最終合意内容報告会 東京
8月	WHO international standard terminologies on Traditional Medicine in the Western Pacific Region刊行
10月20日-22日	WFAS設立20周年記念学術大会 北京
	第14回国際東洋医学学術大会 (ICOM) 台北
1月29日-31日	WHO経穴部位国際標準化特別会議 マニラ
5月	WHO Standard Acupuncture Point Locations in the Western Pacific Region刊行
11月6日	WFAS執行理事会 北京
11月7日-9日	WHO伝統医学会議 北京宣言
3月27日・28日	日本統合医療学会がアジア統合医療会議を開催
11月3日-7日	WFAS鍼国際シンポジウム ストラスブール
6月	ISO/TC249第1回全体会議
11月6日・7日	WFAS鍼国際シンポジウム サンフランシスコ
12月21日	国連総会、ハンセン病差別撤廃決議
	第1回WHO国際伝統医学分類プロジェクト会議 香港
	第2回WHO国際伝統医学分類プロジェクト会議 東京
	第15回国際東洋医学学術大会 (ICOM) 幕張
11月5日・6日	WFAS鍼国際シンポジウム サンパウロ
11月16日-18日	WFAS鍼国際シンポジウム インドネシア・バンドン
	第3回WHO国際伝統医学分類プロジェクト会議 上海
	第4回WHO国際伝統医学分類プロジェクト会議 香港
	第5回WHO国際伝統医学分類プロジェクト会議 東京
	第16回国際東洋医学学術大会 (ICOM) ソウル
4月	世界医師会、患者の権利に関するリスボン宣言再確認
11月2日-4日	WFAS鍼国際シンポジウム シドニー
10月31日-11月2日	WFAS鍼国際シンポジウム ヒューストン
	IS/TC249 滅菌済単会使用毫鍼の規格ISO17218発行
	第17回国際東洋医学学術大会 (ICOM) 台北
9月25日-27日	WFAS鍼国際シンポジウム トロント
4月15日-17日	第18回国際東洋医学学術大会 (ICOM) 沖縄
11月5日・6日	WFAS鍼国際シンポジウム 東京/つくば 1733名参加
12月3日・4日	WFAS鍼国際シンポジウム/設立30周年記念大会 北京

2018	平成30	6月18日		あはき広告検討会		6月18日	第10回WHO国際伝統医学分類プロジェクト会議 東京 国際疾病分類の第11回改訂版 (ICD-11) 最終案公開	
		7月	西日本豪雨災害					
		10月25日					10月25日	国連加盟国プライマリ・ケアに関するアスタナ宣言
		11月16日 - 17日					11月16日 - 17日	WFAS鍼国際シンポジウム バリ
		12月28日	日鍼会と全鍼師会が災害支援の合同委員会DSAMを設立					第19回国際東洋医学学会大会 (ICOM) 台北
2019	平成31 (令和1)	1月1日	あはき療養費の受領委任制度開始					
		1月			1月	ICD-11がWHO総会で承認		
		2月6日	医療基本法の制定に向けた議員連盟結成					
		10月1日	消費税10%に改定					
		10月	台風19号・21号					
2020	令和2	11月14日 - 17日				11月14日 - 17日	WFAS鍼国際シンポジウム トルコ・アンタルヤ	
		7月	『医道の日本』誌定期刊行休止					
		11月28日・29日			11月28日・29日	WFAS鍼国際シンポジウム 海口 (ハイブリッド開催)		